

成果物 2

厚生労働省 令和 3 年度補装具装用訓練等支援事業

[意思伝達装置の判定に関わる公的機関、リハ専門職向け]

重度障害者用意思伝達装置  
装用訓練実施のための研修マニュアル

令和 4 年 3 月

社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団

横浜市総合リハビリテーションセンター

## はじめに

---

---

補装具の重度障害者用意思伝達装置（以下、意思伝達装置）の購入等にあたり、障害者総合支援法に基づく補装具費支給の際に、一定の資格要件を満たした医師が判定し、障害当事者の身体機能との適合、日常生活や作業における有効性などを判断することを求められるが、意思伝達装置を適切に選定するためには装用訓練が必要である。その過程に関わる医療スタッフ、更生相談所や市町村などの社会福祉職、業者やエンジニアなどの技術職に補装具費支給制度、意思伝達装置の使い方や障害当事者への適用の可否などについて、基本的なことを知っていただく必要がある。

本マニュアルは、装用訓練の方法について説明した別冊「重度障害者用意思伝達装置の補装具判定のための装用訓練マニュアル」と合わせて、訓練を実施する関係者に必要な研修について、研修用資料の例を含めて1つのパッケージ化として提案する。全国各地の更生相談所や拠点病院が補装具・意思伝達装置の判定に関わる、またはこれから関わろうとするスタッフに向けて研修を行う際の参考にされたい。

## 目次

---

---

1. 研修の目的と対象者について	3
2. 意思伝達装置について	5
3. 補装具費支給制度について	8
4. 装用訓練について	9
5. 研修会の運営について	10
6. 研修会レジメ例	
6-1. 「意思伝達装置の理解」	11
6-2. 「補装具費支給制度についての理解」	17
6-3. 「装用訓練の理解」	21

## 1. 研修の目的と対象者について

補装具の処方には様々な専門職が関わる。医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、保健師などの医療職、市町村役所や更生相談所などの社会福祉職、業者やエンジニアなどの技術職が制度利用の流れの中で役割を果たすことで適切な装置が当事者に供給される。

例えば医療職には、制度の理解と装置の理解を中心に、社会福祉職には装置の理解と、身体機能に合わせた装用訓練について、技術職には制度と装用訓練について、それぞれを強調した内容にすることで、必要な知識と技術を習得する。ケアマネージャーなどの介護保険関係者は様々なバックグラウンドを持っているので、全般的に網羅した内容を知っていただく必要がある。

これらの専門職に対して、以下のように理解を進めることが大切である。

補装具「意思伝達装置」を必要な方へ供給するためには、様々な専門職が関わり、障害当事者とご家族を支援しなければならない。車椅子や下肢装具などの補装具と比較して、意思伝達装置の供給には独特の困難性が伴う。例えば以下のような点である。

- ①意思伝達装置が周知されていない
- ②処方に携わった経験のある医療や福祉の専門職が少ない
- ③取り扱い業者が少ない
- ④意思伝達装置の取り扱いに高度の専門知識が必要
- ⑤補装具費支給制度が分かりにくい
- ⑥多くの専門職（またはその役割を代行する者）が必要

そのため、現在障害当事者への意思伝達装置の導入に関与している方も、これから関わる方も研修会や説明資料を通して理解を深めていくことが望ましい。

研修内容には3つの側面が考えられ、1つ目は、意思伝達装置そのものの理解、2つ目は、補装具費支給制度についての理解、3つ目は本人の身体機能に合わせた操作評価方法の理解である。

対象者に合わせて、強調し、より詳しく説明する部分を変える必要がある。また、様々な職種の参加者を対象に実施する研修では、グループ分けやグループワークを取り入れることが望ましい。他職種との意見交換の場となり、意思伝達装置の導入に必要な専門職がチームとして取り組むことの良い機会となる。したがって、研修の目的は以下のとおりである。

○研修の目的

①意思伝達装置を理解する

意思伝達装置とは何か

入力装置と周辺機器について

②補装具費支給制度を理解する

相談から判定、制度利用の流れ

意思伝達装置、入力装置の供給について

③装用訓練を理解する

装用訓練とは

装用訓練の手順

装用訓練の留意点





## 2. 意思伝達装置について

6-1. 「意思伝達装置の理解」のスライド資料（12頁）を参照

- 正式名称を重度障害者用意思伝達装置という。
- 重度の両上下肢及び言語機能障害者であって、意思伝達装置によらなければ意思の伝達が困難な者が給付の対象である。
- 意思伝達装置は「文字走査入力方式」「生体現象方式」の2種類に分けられる。
- 重度の障害者でも操作ができるよう、8種類の入力装置が制度の対象になっている。

### 意思伝達装置






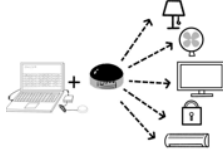
名称	特徴	イメージ図
文字等走査入力方式	50音表の行や列が自動で走査（スキャン）され、選択する。	 <p>The diagram shows a 5x10 grid of Japanese characters. A hand is shown using a mouse to click on a character in the grid. Text above the grid says '→ 入力装置の操作で行を自動で移動' (Automatic row movement by input device operation) and text to the left says '↓ 入力装置の操作で列を自動で移動' (Automatic column movement by input device operation).</p>
生体現象方式	呼びかけに対する脳波や脳血流量の変化を検出。	 <p>The illustration shows a person wearing a headset with a microphone and a laptop. A speech bubble from the person says 'いま脳波が異なるとか' (Something about brain waves being different now). Another speech bubble from the laptop says 'はい' (Yes).</p>

## 入力装置

名称	特徴	イメージ図
接点式入力装置	別名押しボタンスイッチ。操作がわかりやすい。	
帯電式入力装置	別名タッチセンサ。身体の静電気に反応。	
筋電式入力装置	筋収縮を捉える。筋電の検知のため直接身体に装着する必要がある。	
光電式入力装置	光ファイバーを通じて手指などに光を当て反射の強さを検知。	
呼気(吸気)式入力装置	呼吸による気圧の変化を検知、先端を口で咥えるため衛生管理(消毒や洗浄)が必要。	
圧電素子式入力装置	ピエゾ素子の薄板のたわみにより発生した電圧を検知する。微細な動きも捉えることができるが、直接身体に貼付する必要がある。	
空気圧式入力装置	空気圧の変化を検知する。	
視線検出式入力装置	視線の動きを赤外線カメラで検出しパソコンのマウスカーソルを動かす。	

その他、意思伝達装置を使用する際の周辺機器として、意思伝達装置を固定する用具、入力装置を固定する用具、呼び鈴（ナースコール）を必要に応じて補装具として費用支給が可能である。

#### 周辺機器

名称	特徴	イメージ図
本体修理	ハードウェアの故障、または機器を使い続けるのに必要なソフトウェアのアップデートに対応する。	
固定台(アーム式)	アーム式はオーバーテーブルやサイドレールにクランプしたアームに意思伝達装置を固定する。	
固定台 (テーブル置き式)	意思伝達装置を一定の画面角度に固定する台である。	
固定台 (自立スタンド式)	自立式でキャスター移動が可能なスタンド型の固定台。	
入力装置固定具	入力装置を本人の操作しやすい位置に固定する。	
呼び鈴	呼び鈴（呼びベル）は、病院のナースコールに当たるもので、家庭や施設でも同様に人の呼び出しに使用する。	
呼び鈴分岐装置	意思伝達装置を操作する入力装置で呼び鈴も操作できるようにするための装置。	
遠隔制御装置	家電製品のリモコン装置で、意思伝達装置に接続して、入力装置を介して家電製品が操作できるようになるもの。	



### 3. 補装具費支給制度について

---

---

6-2 「補装具費支給制度についての理解」のスライド資料（18頁）を参照

- 身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替する用具を補装具といい、購入費を公的に支給する制度。
- 義肢、装具、視覚障害者安全つえ、車椅子などがあり、重度障害者意思伝達装置は平成18年から補装具として処方されるようになった。
- 身体に装着する用具のため身体機能や生活状況を確認し、医師が処方をする。
- 補装具を処方する医師は判定医と呼ばれ、判定医が処方することを補装具判定、と呼ぶ。
- 制度利用の流れは、①本人等が市区町村へ申請し、②障害者更生相談所が必要性を判定し、③市町村が補装具導入に必要な補装具費の支給を決定し、④本人または代理受領する業者に支給される。
- この一連の流れは自治体によりリハビリテーションセンターを介するなど特色があるため、研修開催前には開催地の補装具判定の流れを確認されたい。

## 4. 装用訓練について

装用訓練の詳細については、別紙「重度障害者用意思伝達装置の補装具判定のための装用訓練マニュアル」を参照のこと。

6-3 「装用訓練の理解」のスライド資料（22頁）を参照

- 装用訓練とは意思伝達装置を最適に処方するためのプロセスのひとつ。
- 意思伝達装置は処方経験がある専門職が少ないので、使用適応の判断に困難さがある。
- 実際に試用し、体験することで使用適応の判断の困難さを解消する。
- 装用訓練の結果を判定医や関係機関と共有し最適な意思伝達装置の処方へ繋げる。
- 装用訓練実施機関は、主治医や専門職が配備されている病院や、地域のリハビリテーションセンターが担うことが望ましい。
- 装用訓練は自宅や施設など普段の生活の場で、できれば数回実施し、機器のセッティングが習得できるか、ケアの邪魔にならないか、など確認する。

### 装用訓練の流れ

チームづくり	本人を取り巻く多職種が役割をもって連携する
事前の情報収集	依頼内容の確認、訪問や外来の日程調整、関係機関への連絡
身体機能等の評価	評価メンバーの選定、評価用機器の選定
装用訓練の実施	評価結果を元に試用機器の選定と設置、搬入
使用適応の判断	使用状況を確認し、機種を選定する

## 5. 研修会の運営について

### 研修準備

研修会開催担当者の選出、研修対象者、内容を確定し、広報を行う。実技演習を行う場合は機器の準備を行う。

### 研修内容

意思伝達装置の導入と装用訓練の実施に必要な「意思伝達装置の理解」「補装具費支給制度についての理解」「本人の身体機能に合わせた操作評価方法の理解」の3つの視点での構成が望ましい。

#### 1. 「意思伝達装置の理解」

(講義) 意思伝達装置の種類、入力装置の種類、周辺機器について

(実技) 機器の操作演習

(担当者例) リハ工学士、機器メーカー

#### 2. 「補装具費支給制度についての理解」

(講義) 補装具費支給制度について、自治体の取り組みについて

(担当者例) 障害者更生相談所職員 ソーシャルワーカー

#### 3. 「装用訓練の理解」

(講義) コミュニケーション支援の理解、疾患の理解、身体機能評価の実際

(担当者例) 医師、作業療法士 理学療法士 言語聴覚士

研修開催にあたり、参加対象者に合わせた内容の検討が必要である。例えば補装具申請手続きを担う市町村の福祉職向けであれば、2を手厚く行い、1や3は最低限必要な情報に留める、また訪問看護や訪問介護など直接機器に触れる支援者向けであれば、1や3をメインに行う、などの工夫をするとよい。

参考までに次項に研修会資料の例を用意したので参考にされたい。

## 6. 研修会レジメ例

### 6-1. 「意思伝達装置の理解」

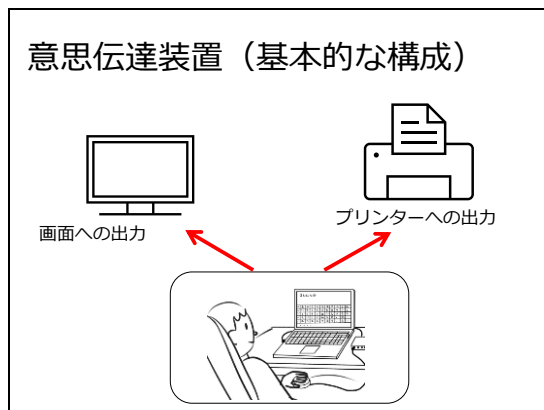
# 意思伝達装置の理解

研修のポイント

①機器の種類（制度上の区分け）を理解する  
②研修内に演習の時間を設ける

## 意思伝達装置とは？

- ・限定された部位の動きで、使用者の意思を伝える装置
- ・「限定された部位」  
指先・足先・呼気・顔面の一部 など
- ・ALS・筋ジストロフィー・パーキンソン病などの難病の方が使用する場合が多い



### 意思伝達装置（例）

品名	入力方式
伝の心(でんのしん)	文字等走査方式
話想 (はなそう)	
T C スキャン(ティーシースキャン)	
Miyasuku(ミヤスク)	
ファインチャット	生体現象方式
トーキングエイドプラス	
マクトスF X マクトスWX	
新心語り 新心語り (単語発信プラス)	その他
Cyin(サイン)福祉用モデル	
Orihime-eye(オリヒメアイ)	
マイトビー	
LUCY	



### Miyasuku Eyecon(文字等走査方式)



※視線入力装置のオプションあり

### トーキングエイド プラス (文字等走査方式)



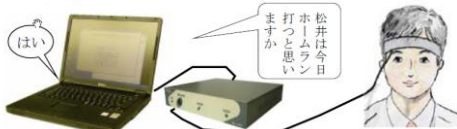
トーキングエイドcaE ホームページより

### 心語り (生体現象方式)



脳血流を計測することにより、脳の活性化度を推測する

→Yesを意思表示したいときには、暗算等で脳を活性化させる



エクセル・オブ・メカトロニクス株式会社ホームページより

### MCTOS (生体現象方式)



オカノシステム ホームページより

電極により、特定の周波数の筋電や脳波を検出し、脳が活性化状態かどうかによりYes/Noを判定する

### 生体現象方式の特徴

- 基本的にはYes/Noの表出程度どちらかというと、「スイッチ」に近い
- (現在のところ) 反応を検出するのに時間がかかる文字・文章などの出力は極めて難しい
- 相性がかなりある? (慣れがかなり必要な場合も)

### Orihime Eye (その他)



視線により文字盤が動く形式。  
人が文字盤を使う動きに近い。  
視線の動きが小さい人でも使用できる場合がある。

## マイトビー (その他)

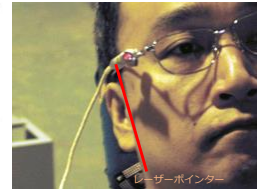


クレアクト ホームページより



視線入力なのでスイッチは不要  
ただし、高価(140万円～)

## LUCY (その他)



株式会社ライフサポート ホームページより

眼鏡に付けたレーザーポインターから発するレーザー光を照射した文字が入力される。

## 入力装置 (例)

品名	入力方式
ジェリービーンスイッチ	接点式入力装置
ポイントタッチスイッチ	帯電式入力装置
EMOS CX	筋電式入力装置
ファイバースイッチ	光電式入力装置
ブレスマイクスイッチ	呼気式(吸気式) 入力装置
ピエゾニューマティックセンサースイッチ	圧電式入力装置
PC-EYES	視線検出式入力装置

## 入力装置 (接点式入力装置)



## 入力装置 (接点式入力装置)



マイクロライトスイッチ (作動力が小さい)

## 入力装置 (圧電式入力装置)



パソニックサクライ(株) ホームページより

タッチスイッチ



グラス(握り)スイッチ

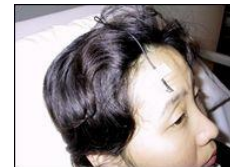
## 入力装置 (空気圧式入力装置)



\* 出力は1ショット出力のみ可能です。(スイッチの保持はできません)

パシフィックサプライ(株) ホームページより

## 入力装置 (帯電式入力装置)

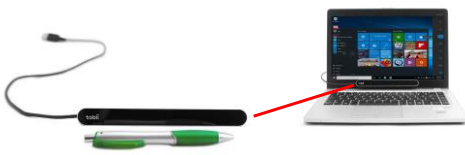


パシフィックサプライ(株) ホームページより

ピンタッチスイッチ

(この先端に人の皮膚が触れると反応する)

## 入力装置(視線検出式入力装置)



「TCスキャン」「Miyasuku」はこのオプションを追加して、視線入力による意思伝達装置にすることができる。

将来、視線入力が有効と思われる利用者は考慮しておく  
とよい。

## 押しやすい(操作力が小さい) スイッチの方が良い?

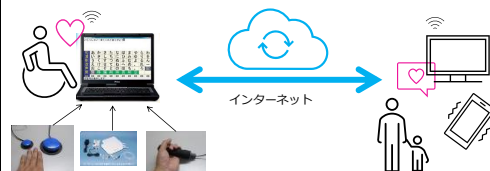
- 操作力の小さすぎるスイッチは誤操作の原因になる
- 「押す」動作と同じくらい「離す」動作が大切
- 適切な操作力のスイッチが必要

## 意思伝達装置全般について 大事なこと

- 利用者本人へのフィードバック(スイッチ、文字表示、音声)
- 意思伝達装置本体も大事だが、操作するためのスイッチはもっと大事
- ケアなどの際に邪魔にならない工夫

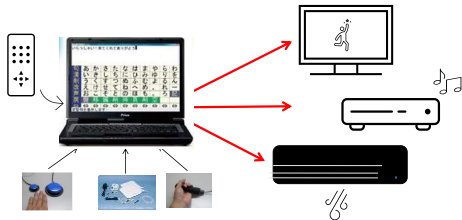
## 通信機器が付加された意思伝達装置

- インターネットを通じて遠隔地の相手のパソコンなどに対してメールなどのメッセージを送信することが可能。



### 簡易な環境制御機能が付加されたもの

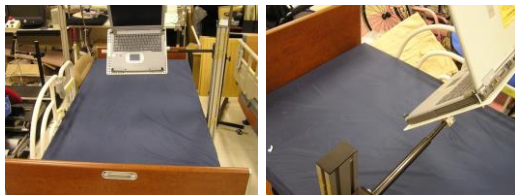
- 環境制御機能  
外部の機器を制御できるもの早い話がリモコン



### 意思伝達装置の利用を助ける道具

- 本体固定台  
ベッドに寝ている姿勢でも、本体の表示が見やすくする
- 入力装置固定具  
スイッチなどの入力装置が常に使用者の使いやすい位置にする
- 呼び鈴・呼び鈴分岐装置  
意思伝達装置使用中でも、介助者などを緊急の際に呼ぶことができる

### アシスタンド（固定台）



### スタンダードアーム （入力装置固定具）



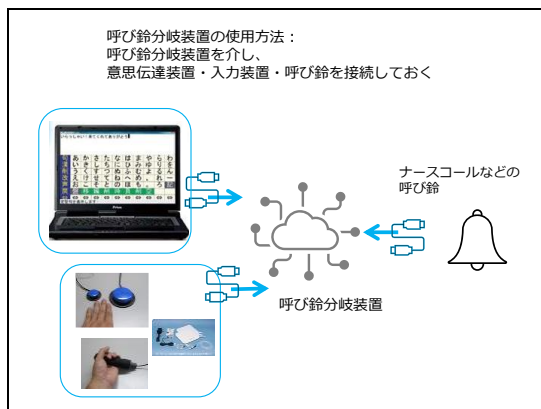
### スプリントを製作して スイッチを固定した例



### 呼び鈴・呼び鈴分岐装置

- 意思伝達装置の使用者の可動部位は限られている
- 意思伝達装置使用時でも介助者を呼びたい場合がある Ex. 吸痰、人工呼吸器などの異常、排泄、その他
- 可動部位で操作できるスイッチ・センサーを、特定の操作をすることで一時的に呼び鈴につなぐ





## 意思伝達装置・入力装置のまとめ

- 限定された部位の動きで意思を伝えることが可能
- 不随意の入力がある人に対しては使用しにくい
- スイッチ式の入力装置は入力に時間を要する
- 視線入力装置は入力効率がよい一方で目の疲労に留意する必要がある

## 参考： コミュニケーション支援機器

\* これらは「補装具費支給制度の対象外」です。

- トーキングエイド for iPad  
(自治体により、“日常生活用具給付”での支給あり。ご確認ください。)
- 自分のパソコン+オペレートナビ  
(自治体により、“日常生活用具給付”での支給あり。ご確認ください。)
- 自分のパソコン+Hearty Ladder  
(無料ソフト。自分のPCへソフトウェアをダウンロードして使用する。)

## 意思伝達装置の支援

- 重度障害者意思伝達装置を必要とする方は、その状態像から主治医や往診医、ケアマネジャーや相談支援専門員、介護・福祉サービス提供者、保健所などの行政サービス担当者など、さまざまな支援者が関わっています。
- 意思伝達装置で胃ろうや気管切開などの重要な意思決定を支援者に伝え、それを支援者がくみ取り自己決定を反映した生活環境の整備に繋がることも充分考えられます。
- 支援の前提として、本人の全身状態の安定や、本人と家族の心理的な安定が重要です。
- 意思伝達装置を含むコミュニケーション機器の選定・適合評価は、チームで役割分担を明確にして行うことが望ましく・・・

**「チームをつくり、チームで支援をする」ことで本日に役立つ機器の導入に繋がります。**

## 6-2 「補装具費支給制度についての理解」

### 補装具費支給制度についての理解

講義のポイント

- ①補装具費支給制度とは（自治体の取り組みを含む）
- ②制度対象の意思伝達装置の紹介
- ③制度利用の流れ

### 制度の位置づけ

平成18年10月1日  
障害者自立支援法の完全施行  
日常生活用具から補装具へ

- ・厚生労働省による告示、補装具費支給事務取扱指針にて基本構造、価格、対象者などを規定
- ・スイッチの選定等には、利用者の身体状況や生活環境等を見極めた適合が必要  
(=補装具の定義に合致)

### 意思伝達装置の対象者

補装具費支給事務取扱指針で定められている。

「重度の両上下肢及び音声・言語機能障害者であって、重度障害者用意思伝達装置によらなければ意思の伝達が困難な者」

### 〇〇市における対象者

（講義のポイント）内容は研修対象者、開催場所等に応じて自治体の最新情報を記載ください。

例）横浜市 次の（ア）～（工）いずれにも該当する必要があります。

（ア）障害状況

- ・身体障害者手帳1、2級を所持（肢体不自由のみの等級）
- ・両上肢に著しい障害があり、かつ、言語機能が喪失状態に相当する者（言語機能障害の手帳の有無は問わない）
- ・日常的なコミュニケーション手段として必要とする者

（イ）知的状況

重度障害者用意思伝達装置を扱うに必要な理解があること

（ウ）使用環境

家族や介護者等、利用するための支援が確保されていること

（エ）使用目的

呼び出し以外の意思伝達の目的があること

### 〇〇市における対象者 （難病患者等）

（講義のポイント）講義の際は、研修対象者、開催場所等に応じて自治体の最新情報を記載ください。

例）横浜市

- ・言語機能を喪失した者又は言語機能が著しく低下している者
- ・筋萎縮性側索硬化症（ALS）等の神経・筋疾患である者  
⇒身体障害者手帳1、2級の有無は問わない。  
医学判定時に確認されれば可。

※神経・筋疾患以外の難病患者については、まず身体障害者手帳の申請を勧奨します。

### 補装具の支給基準より抜粋 （種目：重度障害者用意思伝達装置）

名称	基本構造	価格
文字等走査入力方式	(a) 意思伝達機能を有するソフトウェアが組み込まれた専用機器であること。文字盤又はシンボル等の選択による意思の表示等の機能を有する簡易なもの	143,000
	(b) 簡易な環境制御機能が付加されたもの	191,000
	(c) 高度な環境制御機能が付加されたもの	450,000
	(d) 通信機能が付加されたもの	450,000
生体現象方式	生体信号の検出装置および解析装置	450,000

### ①文字等走査入力方式

<基準と主な製品>

- c.簡易なもの
- b.簡易な環境制御機能が付加されたもの  
⇒製品：ファインチャット

- c.高度な環境制御機能が付加されたもの
- d.通信機能が付加されたもの  
⇒製品：伝の心、TCスキャン、miyasuku、

### ファインチャット

#### ①文字等走査入力方式

- a.簡易なもの
- b.簡易な環境制御機能が付加されたもの



アクセラエース株式会社ホームページより

価格；¥398,000

### ①文字等走査入力方式

a.簡易なもの¥143,000

ひらがな等の文字綴り選択による文章の表示や  
発声、要求項目やシンボル等の選択  
による伝言の表示や発声等を行うソフトウェア  
が組み込まれたもの

対象者：

操作が簡易であるため、複雑な操作が苦手な  
者、もしくはモバイル使用（持ち運び）を希  
望する者

### ①文字等走査入力方式

b.簡易な環境制御機能が付加されたもの ¥191,000

1つの機器操作に関する要求項目を、インターフェースを通  
して機器に送信することで、  
当該機器を自ら操作することができるソフトウェアを、ハード  
ウェアに組み込んでいるもの

対象者：

独居等日中の常時対応者(家族や介護者等)が不在等で、家  
電等の機器操作を必要とする者

例； テレビ、エアコン 等

### 伝の心 TCスキャン miyasuku

#### ①文字等走査入力方式

- c.高度な環境制御機能
- d.通信機能が付加されたもの



価格；¥450,000

### ①文字等走査入力方式

c.高度な環境制御機能が付加されたもの ¥450,000

複数の機器操作に関する要求項目をインターフェースを通し  
て機器に送信することで、当該機器を自ら操作することがで  
きるソフトウェアをハードウェアに組み込んでいるもの

対象者；

独居等日中の常時対応者(家族や介護者等)が不在等で、  
複数の家電等の機器操作を必要とする者

例；テレビやエアコン等の操作が可能な「学習リモコン」  
を付加した場合等

## ①文字等走査入力方式

d.通信機能が付加されたもの ¥450,000

生成した伝言を、メール等を用いて、遠隔地の相手に対して伝達することができる専用ソフトウェアをハードウェアに組み込んでいるもの

対象者：  
通信機能を用いて遠隔地の家族等と連絡を取ることが想定される者

## ②生体現象方式

生体現象（脳の血流や脳波量等）を利用して、「はい・いいえ」を判定するもの

対象者：  
筋活動(まばたきや呼吸等)による機器操作が困難な者

## 心語り



脳血流を計測することにより、脳の活性化度を推測する

→Yesを意思表示したいときには、暗算等で脳を活性化させる



エクセル・オブ・メカトロニクス株式会社ホームページより

## マクトス



株式会社テクノスジャパンホームページより

ヘッドバンドの電極により、特定の周波数の脳波を検出し、脳が活性化状態かどうかによりYes/Noを判定する。

16

## 「専用機器」の定義

- ・本体の電源を入れた際に、自動的に「意思伝達装置の機能を有するソフトウェア」が起動し、終了時にシステム電源を終了することができる  
⇒ 一体型の専用機器は、フリーズ等のトラブルが少ない
- ・補装具業者がソフトウェア、ハードウェア両方を機器全体のシステムとして修理対応できる

## 「専用機器」の定義

市販のパソコンに、意思伝達装置の機能を有するソフトウェアをインストールして利用するものは、専用機器ではない。

例：オペレートナビTT2 (株)テクノツール社

(相談事例)

もともと自分のパソコンを使用しており、慣れた動作環境で意思伝達機能を使いたい…

⇒ 専用機器ではないため、基本的には対象外。

特別な事情がある場合は、特例補装具として検討する必要あり。

## 補装具判定の流れ（作成）

（講義のポイント）研修対象者、開催場所等に応じて自治体の最新情報を記載ください。

適合判定の流れの他に、必要書類の揃え方、相談窓口や担当課、担当者の情報があるとよいでしょう。



## 補装具修理の流れ

判定が必要な修理

- ①日常生活用具として給付したものの修理
- ②身体状況の変化等による入力装置の種類交換、部品・本体の修理（身体評価が必要なもの）

判定が不要な修理

- ・前回作製したものの部品の交換のみの場合  
⇒自治体での支給決定が可能

※判定依頼の必要書類・流れは新規と同様。まずは更生相談所に相談を。

## 6-3 「装用訓練の理解」

### 装用訓練の理解

研修のポイント

- ①装用訓練の必要性を説明
- ②事前準備の必要性の理解

### 装用訓練（試用訓練）とは

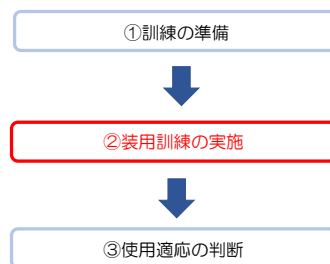
- 重度障害意思伝達装置を最適に処方するためのプロセスのひとつ。
- 実際に意思伝達装置を試用し体験すること。



### 装用訓練の必要性

- 重度障害者意思伝達装置は他の補装具と同様に判定医(以下医師)が判定し、補装具の処方を行う。
- 身体・精神機能、ニーズなどに基づき使用適応を判断する。
- 意思伝達装置は処方経験がある専門職が少ないので、使用適応の判断に困難さがある。
- 最適な意思伝達装置の判定のため、装用訓練（試用訓練）を実施することが望ましい。

### 装用訓練の流れ



#### ①-1 装用訓練の準備 チームづくり

- 対象者には家族、主治医、ケアマネジャー、サービス提供事業者、保健所など多くの支援者が関わっている。
- 支援者とも意思の伝達をするので、支援者が意思伝達装置を理解する必要がある。
- 装用訓練実施の際も同様。
- そのためまずチームづくりからスタート。

#### ①-1 装用訓練の準備 チームづくり

【チームづくりのポイント】

- 装用訓練実施にあたりそれぞれの役割を決める  
例) 本人・家族 → 機器の管理をする  
主治医 → 判定に必要な情報提供  
ケアマネジャー → ニーズの聴取 など
- 使用の最終決定はあくまでも本人であることをチーム全員で認識する

### ①-2 装用訓練の準備 事前準備

【実施機関】

- ・依頼内容の確認
- ・身体機能等の評価
- ・装用訓練後、速やかに処方されるよう更生相談所、市町村と事前の情報共有
- ・訓練の実施方法の検討（外来なのか訪問なのか）

### ①-2 装用訓練の準備 事前準備

用途の確認→何をするために使用する？

### ①-2 装用訓練の準備 事前準備

用途の確認→用途と意思伝達装置の機能はマッチしているか？

	呼び ベル	Yes・No メッセージ リスト	口文字 文字盤	PC・タブレット +アプリ・ 入力装置	携帯用会話 補助装置	重度意思 伝達装置
人を呼ぶ	◎	×	×	×	×	○
介助依頼	×	◎	◎	△	○	○
会話	×	△	単語○ 長文△	○	○	○
メール・LINE	×	×	×	○	×	○

### ①-2 装用訓練の準備 事前準備

- ・身体機能等の評価 入力装置の操作方法を検討

### ①-2 装用訓練の準備 事前準備

・機器選定・・・意思伝達装置、入力装置、周辺機器

意思伝達装置の選定

マクトス 伝の心

入力装置の選定

アイコロ PPS

支持具

アイコロ PPS

・本人の希望

・介助者のセティング能力

・職場や通所先へ持参・携帯

・操作の耐久性

・セティングの再現性

・自宅と通所先の使用環境

・運搬や設置のしやすさ

### ①-3 装用訓練の準備 機器（デモ機）の用意

- ① 実施機関で購入
- ② メーカーや販売店へ依頼
- ③ 仮受け制度の活用
- ④ A L S協会など関連団体の貸し出しサービス

市町村より状況が異なるので、地域ごとに合わせた最新情報を記載ください。

## ②-1 装用訓練の実施

機器の設置



入力装置の評価と設置



こちらは訪問での対応事例です。事前の情報収集から意思伝達装置を選定、入力装置は当日数種持ち込み使用評価後、設置を行いました。

## ②-2 装用訓練の事例

ポイント=どの動きで入力装置を操作するか



指の動き

呼吸・吸気

頭部の動き

## ②-3 装用訓練のポイント

- 自宅、施設など普段の生活の場で試用体験をすることが重要。
- 普段の生活の中で家族や支援者のみでセッティングや使用ができるか？
- 意思伝達装置や入力装置などが生活やケアの邪魔にならないか？
- 装用訓練は数回実施することが望ましい。

## ③ 適応の判断

- 装用訓練の様子をチームで共有する
- 判定医へ情報提供する
- 装用訓練の結果、意思伝達装置の処方に繋がらないケースもありますが、今後病気の進行や生活の変化により意思伝達装置の検討をするかもしれません。
- その時に装用訓練の情報が役立つ。



重度障害者用意思伝達装置  
装用訓練実施のための研修マニュアル

---

編集： 横浜市総合リハビリテーションセンター  
研究開発課

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1770

TEL. 045-473-0666(代) FAX. 045-473-1299

イラスト：うつみちはる

令和4年3月31日